

そのとき桜隊は……

戦争のさなか、戦況の悪化とともに、劇団は壊滅状態にありました。国の方針に沿わない劇団は、強制的に解散させられ、100名以上が検挙されました。芝居を続けるには、移動演劇連盟に加盟するしかありませんでした。

1944年に入ると、連盟に加盟している劇団は、地方への疎開を強いられます。その疎開地を拠点として、全国の工場、学校、軍へと慰問の公演を続けたのです。

そして1945年8月6日、桜隊は広島で被爆し、そこに居合わせた劇団員9名全員を失ったのです。

桜隊原爆忌のあゆみ

1945年9月17日 築地本願寺にて移動演劇連盟や演劇界、映画界と一般などによる合同慰霊祭が営まれ、碑建立の話が出る。小山内薫碑のある多摩墓地や友田恭介の墓所九品仏、築地本願寺などが候補に挙がり、建立費も募集されたが、旧円封鎖やインフレなどにより立ち消えとなる。

1952年9月 9人の遺骨を預かる徳川夢声が羅漢寺に相談。住職の尼僧が同意、寺にある大きな石と台石に將軍吉宗の腰掛け石が提供された。碑銘「移動劇団さくら隊原爆殉難碑」は徳川夢声が書き、背面には柳原白蓮の短歌「原爆のみたまに誓ふ人の世に浄土をたてむみそなはしてよ」が刻まれた。

1952年12月8日 除幕式。遺族、演劇人、一般など多数参列。平和の鐘が鳴り、尼僧20余人読経の中で除幕。9人の分骨が納められた。

1953年8月6日 碑の法要。夢声渡米中のため、白蓮が主催。安井誠一郎東京都知事に参列者およそ200名が焼香した。

1975年8月 鎌倉にできた丸山定夫碑前に参集した16人が準備会世話人となり、「桜隊原爆忌提唱」の文を作り、入会募集を始める。

1975年9月「丸山定夫・園井恵子原爆散華三十年」白炎忌(紀伊国屋ホール)

1975年10月19日 ◆桜隊原爆忌◆これをもって第1回とする(参加者52名)ここで桜隊原爆忌を毎年8月第3日曜日と決める。

1977年の三十三回忌には、参加者は80余名。(81年以降、8月6日に定着)

1985年頃から、参加者は100名を超すようになる。

1988年 新藤兼人監督映画『さくら隊散る』完成。この頃、参加者百数十名。

1993年 広島以外で亡くなった園井恵子、高山象三、仲みどりの3人の名が原爆慰霊碑の名簿に書き加えられ、9人全員が原爆の地広島に揃う。

2006年 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館に9名全員を登録。

【桜隊原爆忌の会歴代会長】

藤原釜足・佐々木孝丸・小沢榮太郎・滝沢修・浜村純・中村美代子

桜隊原爆殉難者追悼会

《プログラム》

2014年 **8月6日** (水) 午前10時30分～午後3時

午前10時30分～ 碑前祭、記念撮影

11時15分～ 歓談、食事

12時00分～ 追悼会

◎開会 総合司会／浦吉ゆか(桜隊原爆忌の会世話人)

◎挨拶 桜隊原爆忌の会会長 神山 寛

◎ご遺族・関係者紹介

◎朗読構成 仲みどりの生涯とそのカルテの行方

(構成・演出／桜隊原爆忌の会事務局)

出演／武田光太郎(フリー) 中島文世(劇団文化座)

福原美佳《予定》 森尻斗南(劇団俳優座)

◎報告 仲みどりのカルテ発見まで

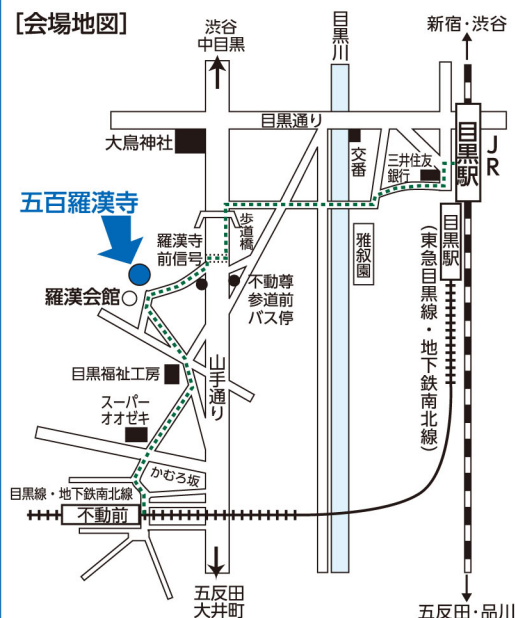
朝日新聞社・専門記者(医療・被爆担当／福島駐在) 大岩ゆり

●参加費 3,000円 高校生以下1,000円(献花料・記念写真・昼食代含)

●会 場 桜隊菩提寺 目黒 五百羅漢寺

東京都目黒区下目黒 3-20-11 ☎03-3792-6751

【会場地図】



*五百羅漢寺へは、①JR目黒駅から徒歩15分。

②目黒線・地下鉄南北線「不動前」から徒歩約10分。

③目黒駅、中目黒駅からはタクシーで1区間。

④東急バス「渋41」渋谷⇄大井町(中目黒経由)渋谷駅からは南口ロータリー33番乗り場。「不動尊参道前」下車1分。

主催：桜隊原爆忌の会

※お問い合わせ・お申し込みは、桜隊原爆忌の会世話人事務局 ☎103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-16-701

☎03-3667-1890 FAX03-3667-1891 URL: <http://www.photo-make.jp/sakura.html> E-mail: sakuratai01@yahoo.co.jp

◆会場準備の都合上、必ずお申し込みのうえご参加下さい。当日ですと入場できない場合があります。事務局不在の場合のため、ファックスが確実です。

◆上記ホームページから、あるいはメールアドレス宛にお申し込みいただけます。いずれの場合も、ご氏名、ご住所、お電話番号を必ずお知らせ下さい。